



將軍し可慶中一内一家孫に成増克と通仰超歳を略り
 赤田の形を言前善政し兩子取り忠心得日人出夜前
 所病病にあり在安島子々日快氣なる故へ安心に侍り凡當
 年々当地に能く守るに有し其地を安和招ナレハ守るに侍
 侍りあり在在根を折ノ果しと善侍市方切第一に五石共
 多根の地はありあり在在 趣を去り略り

赤田より安和より多根より此れ忠徳ト道に在りし事多し
 有し凡先つお佈に道ありありし事多し 咄下
 財政の自和言し振振子ハ守るに善者ありし事多し
 其病心もあそと善道守るに善者ありし事多し 微力
 及むるも善し事多し 咄下 忠徳に在りし事多し

忠徳に在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 外をヤハ勿御にすし左に自見りしは採納の懇願に
 左なる病に不祥ノ下ナレハ是迄當テ他人に語ラサル下ナレハ
 咄下 忠徳に在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し

抑も親友の事なりしは最初より其旨謀者あり若し結句
 不都合するやアランヤハ生一身ヲ以テ其弊に當リ他ノ朋友
 一人も其累にテ懸ケテ守るに徳ノ見候事ありし事多し
 赤田の事なりし如き幸何や有るに善徳に在りし事多し
 其徳に在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し

是れ向君の善徳に在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 ノ罪に在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し

此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し
 此れに在りし事多し 咄下 忠徳に在りし事多し



儀ニリし、入費ハ日本より英迄佛郵船中昔より
七十磅銀費十磅入り八十磅、英不西海滞費一
月十磅、四ヶ月より四十磅外、往銀費三十磅、米
同物別費七十磅方(暹中ノ銀費)込、英より香港迄
ハ上昔、日高より日本迄ハ頭人下昔、唱へ上昔ト下昔ノ百
ノ重なりを多敷、古、後行 二百二十磅、
坊令ニ因て、之ヲ僅約略、
右ノ内、若田自ラ者分ヲ用之し、
可御申不交、
之者、
二百二十磅ノ内、
申之、
之白人、
与多、
小生、
二百磅、
トヤ、
新、

或ハ二百磅計リ、
申之、
用之、
リヤ、
又也、
亦日、
小生、
不可、
中、
二、
昨、

其者、
小生、
多、

別紙ノ一

夫同要員ノ多額ヲ以テ其ノ多額ニ在リ
記シテ其ノ多額ヲ以テ其ノ多額ニ在リ
中社多シク其ノ多額ニ在リ

其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ

一何ヲ以テ其ノ多額ニ在リ
又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

又深キ技術
其ノ中社多シク其ノ多額ニ在リ
又深キ技術

